

静岡病院ニュース

順天堂大学医学部附属静岡病院

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129 TEL 055-948-3111

No. 68
2016年7月8日

小児専用病棟開設

(2C病棟16床)

―病院全体で577床に拡大―

2016年4月1日より、診療部・看護部・事務部各部門の協働により、小児科のみならず外科疾患のお子さんも一括して入院管理を行う小児専用病棟として、2C



(伊豆の国市のゆるキャラ『ぬえ左衛門』が遊びに来ました。)

順天堂大学医学部附属静岡病院
新生児科小児科 准教授
病棟16床が開設されました。

寒竹正人

災害時の避難所の例を挙げるまでもなく、入院生活という非日常のなかで、成人・小児混合病棟においては双方のストレスが多大なものであることは想像に難くありません。その点で今回の2C病棟の開設は当院にとって念願でしたし、地域の方々にとっても待望されていたものだったようで、開設後から伊豆日日新聞、静岡新聞の取材をお受けしたり、伊豆の国市長が定例記者会見で言及されたりしています。



当院小児科の掲げる「幅広い診療活動を通して地域医療に貢献すること」を実現するためには、家庭の事情にに応じて多様な付き添い体制の構築が不可欠だと考えており、完全看護から付き添い入院、さらには個室での家族による終末期医療まで対応すべく調整しております。どうぞよろしくお願いたします。

今日の冠動脈治療

静岡病院の
現状紹介



循環器科 准教授

磯田 菊生

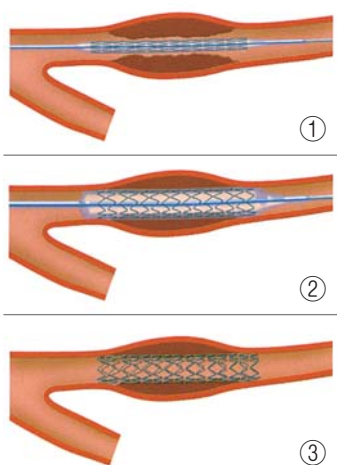
心臓を栄養する動脈を冠動脈
と言ひ、この動脈が狭くなると
狭心症を起こし、閉塞すると心
筋梗塞を起こします。循環器科
ではカテーテルを使用して冠動
脈の狭窄や閉塞を解除する冠動
脈治療を日夜行っています。今
回は最近の冠動脈治療について
紹介させていただきます。

順天堂大学医学部附属静岡病
院では年間約2000件の冠動
脈造影および約650件のカテー
テルを使用した冠動脈治療（経
皮的冠動脈インターベンション
（PCI）と呼ばれています）を
施行しており、静岡県内でも有
数の症例数となっております。緊
急カテーテル治療（PCI）は
年間約200例で、心肺停止な
ど重篤な症例に対しても、人工
呼吸管理、大動脈内バルーンパ
ンピング（IABP）、経皮的心
肺補助装置（PPCP）などの
循環補助下でカテーテル治療（P
CI）を施行し、救命にあたっ
ております。

冠動脈ステント留置

病変形態や動脈の蛇行具合に
より、カテーテル挿入部位の変
更はありますが、当院のカテー
テル治療（PCI）は左手首の
動脈（左橈骨動脈）を挿入部の
主体として施行するため、治療
後の長時間の臥床安静を避ける
ことができます。病変部の治療
に際しては、病変の位置や形態
を考慮し、最新の薬剤溶出性ス
テント（DES）の中から種類
を選択し、患者さんの治療後の
より良い経過が得られるように
配慮しています。更に、全国的
な治験や臨床試験に参加し、大

【ステント留置模式図】



出典：インフォームドコンセントのための
心臓・血管病アトラス（トリアイヨー）

薬剤コーティング バルーン（DCB）

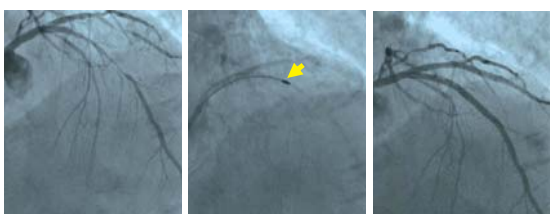
学病院の目的の一つである最新
の研究データ発信に寄与して
います。これも、患者さん方々
のご協力があったことで、職
員一同深く感謝しています。

ステント治療において、従来
型の金属ステント（BMS）で
は20-30%、薬剤を塗布したス
テント（DES）では10%前後
の再狭窄を起こすことが知られ
ています。最近までは再狭窄を
起こしたステント内に更に薬剤
を塗布したステント（DES）
を重ねて留置する治療法を行っ
ていましたが、当院では201
4年より再狭窄抑制薬剤をコー
ティングしたバルーン（DCB）
を使用した治療を積極的に使用
しています。この治療法ではス
テント内の金属量が増えないこ
とや、治療部から出る冠動脈の
枝（側枝）の血流低下を
避けることができますと考
えています。

ロータブレーター

冠動脈の高度石灰化で
は、治療のためのバル
ーンが通過しなかつたり、
通過したとしても十分な

拡張が得られずステント留置が
行えないことがあります。当院
でこのような症例に対し、高速
（15-20万回転/分）で回転して、
動脈の石灰化病変を削るロータ
ブレーターを積極的に使用して
います。ロータブレーターで削
り取られた組織片は理論上赤血
球より小さく破砕されるため、
血管の末梢で目詰まりしないと
されていますが、当施
設では全例
で手技によ
る血流低下
を防ぐ薬剤
（シグマート）
を投与して
合併症発症
率の低下を
はかっています。



治療前 ロータブレーター(矢印) ステント留置後

以上のように、当院では最新
の治療法で患者様に最良の医療
の提供を心掛けていますが、内
科的治療困難と考える場合は、
躊躇せず高い技術を持つ心臓
血管外科にコンサルトし、幅広
い視野での治療方針決定を行な
っています。

新科長就任の挨拶



膠原病内科
准教授

片桐 彰

膠原病・リウマチ内科の片桐彰です。静岡病院勤務10年となりますが、この度、平成28年1月より若輩ながら科長として、膠原病・リウマチ内科を統括することとなりました。気持ち新たに気を引き締めて診療にあたらせていただきます。

ところで皆さん、膠原病という、どのようなイメージをお持ちでしょうか。関節や筋肉が痛くなる、熱が何週間も下がらない等が膠原病の代表的症状ですが、原因不明で治らない病気という漠然とした印象をお持ちの方が多くいます。確

かに、いわゆる国の難病指定となっている病気も多いのですが、現在診断法が日々進化しており、治療も今まで難治とされていた病態に対して新しい薬が開発されてきています。

当科の代表疾患である関節リウマチは、生物学的製剤という薬の出現により、症状もなく関節破壊も進まない「寛解」という状態が治療目標となりました。そんな最新治療をいち早く取り入れつつ、漠然とした患者さんの不安に対し丁寧にお答えし、暗い面持ちが満面の笑顔になるよう明るい診療を心掛けてますので、御気軽にお声掛けください。



電子カルテ導入について



血液内科
教授

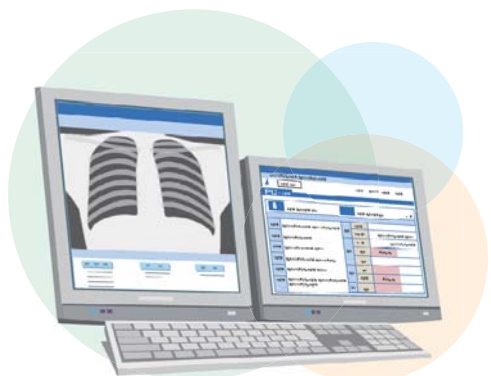
小池 道明

本年7月19日より、電子カルテを導入します。他関連病院の経験を活かして、より洗練された運用を目指しております。

最も期待できるのは、カルテ出しに発生する、外来待ち時間の解消です。特に、初診の患者さんたちにはお待たせすることが多かったのですが、大幅な短縮となると思います。

また、検査結果がすべて一括して電子カルテに収まっていますので、患者さんへの結果説明や結果の患者さんへの提供に漏れがなく、即座に行うことができます。

また、症状や治療の経過がリアルタイムに分かり、医療を確実に安全に提供できます。最初は慣れないこともあり、ご迷惑をおかけすることもあると思われませんが、決して画面だけを見ている職員にならぬよう努めてまいりますので、どうか長い目で見守っていただきたいと思います。



市民公開講座開催のご案内

第45回 順天堂大学静岡病院市民公開講座

メインテーマ：《骨粗鬆症》

講演① 『静かなドロボー 骨粗鬆症』

～骨が弱いと長生きできないって…本当？～

講師 整形外科 前任准教授 ^{おお ばやし} 大林 ^{おさむ} 治先生

講演② 『骨粗鬆症の予防・改善に運動をしよう!』

～健康寿命を伸ばすために～

講師 理学療法士 ^{こ ばやし あつ ろう} 小林 敦郎先生

平成28年
7月30日土
13:30～16:00
(開場13:00)

場所 **韮山文化センター(韮山時代劇場)大ホール**
伊豆の国市四日町772 (伊豆箱根鉄道「韮山駅」より徒歩約5分)

- 定員/350名(定員に達した場合はお断りすることもございます)
- 参加方法/どなたでも自由にご参加いただけます。当日、直接会場までお越し下さい。

参加費
無料

申込み
不要

第46回 順天堂大学静岡病院市民公開講座

平成28年
8月23日火
17:30～18:30
(開場17:00)

『うつる皮膚病 うつらない皮膚病』

～こわい皮膚病 こわくない皮膚病～

講師 皮膚科 教授 ^{よし いけ たか し} 吉池 高志先生

第47回 順天堂大学静岡病院市民公開講座

平成28年
9月26日月
17:30～18:30
(開場17:00)

『リンパ腺がはれたら』

～いろいろな病気でリンパ腺ははれます～

講師 血液内科 教授 ^{こ いけ みち あき} 小池 道明先生

場所 **順天堂大学医学部附属静岡病院** 管理棟4階 第1会議室
静岡県伊豆の国市長岡1129番地

- 定員/100名(定員に達した場合はお断りすることもございます)
- 参加方法/どなたでも自由にご参加いただけます。当日、直接会場までお越し下さい。

参加費
無料

申込み
不要

お問い合わせ 順天堂大学医学部附属静岡病院 地域医療連携室
TEL : 055-948-3111(代) FAX : 055-948-2103(直通)

■共催/順天堂大学医学部附属静岡病院/順天堂大学医学部/静岡災害医学研究センター/伊豆の国市一般社団法人田方医師会

広報誌をご覧の皆様へ

ご意見ご要望等ございましたら、下記まで御連絡下さい。

問合せ：順天堂大学医学部附属静岡病院 医療サービス支援センター地域医療連携室
電話：055-948-3111 (内線) 3550